

セミナー通信

V o 1 . 298

西村セミナールーム

主宰 西村 恵子

2018年度卒塾生 それぞれの才能

新年度となりました。2018年度卒塾生を紹介させていただくのも、あと2回とさせていただきます。今回は3人の男子です。彼らのそれぞれの才能と頑張りをご紹介します。

まずは中2の初めに入塾してきたS君。入塾当初から成績は大変良く、学校でも「S君は天才だ。」と言われていましたが、常に学年1位というわけではありませんでした。とにかくミスが多い。その点の改善を始め国語力や図形のセンスを伸ばしたいということで入塾してきましたが、彼の最高に良いところはその素直さでした。私に教えられた通りのやり方でやります。覚えるべき社会や漢字の確認テストも実直に努力して覚えます。彼の才能は、単に理解力や記憶力が人並み以上に良いということだけではなく、この素直さと根性で何でも吸収していくところにこそあるのだと思えました。もちろん、さらに伸びました。2年の3学期から卒業までずっとダントツで学年1位をとり続け、旭丘高校へ進学。今も文武両道でさらに良きものを吸収し続けています。

そして、そんなS君が認めていたのがすでに中1から入塾していたY君の数学力です。特に中3の図形分野に入ってからY君の数学力はぐんぐん伸びてきました。ただ、残念だったのは内申……。中2の3学期の時点で34。本人の名古屋市内高校への入学希望は無謀とも言えるものでした。しかし、ここで彼自身を引っ張っていったのが他ならぬ彼の数学の力だったのです。得意なものがあると、それを強固な土台にして人はさらに高みを目指すことができます。数学で鍛えた論理的思考力と努力で苦手な国語も克服し、数学はS君と競いながら、最終的には学年順位6位、内申41まで上げて、Y君は希望していた瑞陵高校に見事合格しました。

そして最後は小6の冬に入塾してきたO君。彼の才能は音楽にありました。進学に選んだのは吹奏楽部で有名な愛工大名電高校。公立高校の普通科と悩みましたが、「本当にやりたいこと」をやるために自分で調べ、ご両親を説得し、必要な内申と実力を持って進学していきました。入学後、練習のため毎朝5時半に家を出て夜は8時半に帰り、年間を通じて練習休みはほとんどなく、お盆とお正月に3、4日ずつあるのみという生活を一年間続けられたのも、他ならぬ自分が望んで進んだ道だったからです。彼の本当の才能は、望んだ未来を自分でつかみ取っていく、そのパワーなのかもしれません。

3人それぞれの才能。どれも素晴らしいものですが、伸ばすも枯れさすもここからの生き方次第です。さらに自分自身の才能を伸ばし進んで行けるよう、みんなを信じて応援しています！